

子供の食物アレルギー

@子どものアレルギーが増加!

年齢とともに自然に治ることが多いですが、食物アレルギーの子どもが増加する傾向にあります。

原因食品は、卵・牛乳・小麦が多く、ピーナツ・果物・魚卵・甲殻類なども年齢が上がるにつれて増えていきます。

症状はじんましん・かゆみなどの皮膚症状が最も多く、目のかゆみ・口の違和感・くしゃみ・咳・腹痛・吐き気など色々です。

アレルギーの症状が全身に及ぶことを、アナフィラキシー、さらに血圧低下や意識障害を伴うことをアナフィラキシーショックと呼びます。

アナフィラキシーショックが起これると、命に関わる場合もあります。アナフィラキシーショックを起こしたことがある子どもは、アドレナリン自己注射で対処できるように用意しています。それによる応急処置を直ちに行い、尚且つすぐに医療機関を受診しなくてはなりません。



@アレルギーの対策は?

子どものアレルギーは研究が進んだことで、これまで常識だと思われていた対策が変わり、以下の3つの様になっています。

- ① 離乳食を遅らせない
- ② 食物除去は必要最小限にする
- ③ アトピー性皮膚炎がある場合、病院を受診してしっかり保湿剤やステロイドを使ったスキンケアする